

鹿骨授業スタンダード推進指導案（技術科）

1. 指導者 梅本成利
2. 会場 木工室
3. 指導学級 1年3組（計32名）
4. 単元名 板材作品製作
5. 単元の重点とする目標  
工具や機器を安全に使用方法を確認し、工夫した板材作品を製作する
6. 単元指導評価計画（10時間扱い）

㊦知識・技能 ㊧思考・判断・表現 ㊨主体的に学習に取り組む態度

時	学習目標	学習活動	評価規準との関連			評価規準(評価方法)	具体的な生徒の姿
			知	思	主		
1	さしがねを正しく使い、けがきしよう。	さしがねの使い方を確認する。さしがねを使ってけがきをする。		○		㊦さしがねの使い方を理解している。(机間指導) ㊧正しいさしがねの使い方を意識して使おうとしている。(机間指導) ㊨けがき後に相互評価を行いノートにまとめようとしている。(ノート)	iPad で以前の授業を確認している。 設計図を見て仕上がり寸法線を描いている。自己評価後に、班で相互評価を行っている。
2・3	のこぎりで自分の考えた寸法通りに木材を切断しよう。	のこぎりの使い方を確認する。クランプ・イスを使い切断する。		○		㊦のこぎりの使い方を理解している。(机間指導) ㊧正しいのこぎりの使い方を意識し、切断している。 ㊨工夫した材料取りをしようとしている。(作品)	基本の材料取り後に、工夫作品の材料取りを意識してのこぎりで切断している。
	やすり・ペルサンダーを使い切断面を加工しよう。	やすり・ペルサンダーの使い方を確認する。切断面を加工する。		○		㊦やすり・ペルサンダーの使い方を理解している。(机間指導) ㊧やすり・ペルサンダーで切断面を安全に気をつけて加工することができる。(机間指導) ㊨設計図を確認して加工しようとしている。(作品)	やすり・ペルサンダーで切断面を加工する。設計図を確認しながら加工している。
4・5				○			
6	キリで下穴をまっすぐにあけよう。	キリの使い方を確認し、万力・クランプに板を挟み、キリで下穴をあける。		○		㊦キリの使い方を理解している。(机間指導) ㊧丁度よい深さを意識して下穴をあけることができる。(ノート) ㊨まっすぐに下穴をあけようとしている。(机間指導)	iPad で以前の授業を確認している。 万力・クランプに材料を挟み、深さに気をつけ、まっすぐに下穴をあけている。
7	げんのう、万力を使い、直角を意識して接合しよう。	接合のやり方を確認する。釘を使い接合する。		○		㊦釘を使う接合方法を理解している。(机間指導) ㊧万力を使い工夫して組み立てることができる。(机間指導) ㊨直角を意識し、隙間なく組み立てようとしている。(作品)	iPad で以前の授業を確認している。 万力・げんのうを使い接合している。 直角を意識しながら組み立てている。
8	紙やすりで表面仕上げしよう。	紙やすりで表面を滑らかにする。		○		㊧工夫してやすりがけができる。(机間指導) ㊨仕上がりを考えて加工しようとしている。(作品)	使用することを考えて、紙やすりを使い、やすりがけしている。
9	ニスを使いムラなく塗装しよう。	ニスの使い方を理解する。ムラなくニスを塗る。		○		㊦ニス塗りのやり方を理解している。(机間指導) ㊧塗る順番を考えてニスを塗っている。(机間指導) ㊨ムラなくニスを塗ろうとしている。(作品)	説明を聞き、ノートにまとめている。 2回に分けて全ての面を1回塗りができるように塗ろうとしている。
10	製作品の製作工程を振り返り、プリントにまとめよう。	学んだ知識・技能が作品のどこに生かされているか、相互評価を通してプリントに取り組む。		○		㊧各班で製作品の相互評価をしている。(プリント) ㊨製作のまとめの中で、ICTを活用して評価・改善しようとしている。(プリント)	各班で相互評価し、iPad で以前の授業を確認しながら、製作のまとめプリントに取り組み、振り返っている。